

連携室ニュース

JCHO千葉病院地域医療連携室

VOL.1



地域連携医について

＊地域連携システム構築中＊

私たちは、地域医療の充実と向上を目指し、近隣クリニックや診療所との連携を強化しています。

地域医療機関との連携は、重点医療サービスの提供効率を高めるだけでなく、医療や治療の質を飛躍的に向上させる大きな力となります。病院としての役割だけでなく、地域全体の「医療ハブ」として機能することを目指しています。患者さんが必要とする最も適した医療機関へスムーズに橋渡しするために、地域の医療機関の皆様と協力し、連携を深めていくことが大事だと考えています。

現在、課題では地域医療連携をさらに強化するため、新たな連携の先を積極的に模索しています。地域の医療機関・施設と提携することで、患者さんのためにも含めた医療ネットワークを構築し、地域全体の医療レベルがさらに強化することは間違いありません。当院との医療連携にご興味ございましたら、ぜひご相談ください。

今月号の内容

地域連携医について

摂食嚥下ワンポイントレッスン

レスパイト入院のとは
入院のご案内

連携室より

摂食嚥下ワンポイント

えんげおでこ体操

嚥下（えんげ）おでこ体操は、飲み込みをサポートするための簡単な体操です。特に、食事中にむせやすい方や飲み込みにくさを感じる方におすすめで、高齢の方でも無理なく続けられます。続けていくことで、喉や首の筋肉を鍛えられ、飲み込みが楽になる効果が期待できます。

椅子に座り背筋を軽く伸ばします。おでこに手のひらを軽く当てて、頭を前に倒しながら、おでこを手で軽く押し合います。喉や首の筋肉に少し力が入る感覚を意識するようにします。体操中は呼吸を止めず、自然な呼吸を続けることが大切です。疲れな程度で、1回につき5回程度を目安に行いましょう。姿勢も重要で、背中が丸くならないように気をつけながら行います。

毎日少しずつ無理なく続け、誤嚥しにくいからだづくりを目指しましょう。



レスパイト入院ご案内

レスパイト入院とは入院治療の必要のない場合でも病院で7～14日間お引き受けする入院のことです。

ご家庭の事情で、一時的に在宅介護が困難になった場合に、医療保険を利用する入院制度になります。

利用対象

レスパイト入院の利用対象となるのは以下のような方々です：

1. 在宅で介護を受けている高齢者や障害者
 - 介護を必要とする高齢者や障害者が対象となります。医療的なケアが必要な方も含まれることがあります。
2. 介護者が一時的に休養を必要としている場合
 - 介護をしている家族や介護者が、病気や疲労、急な用事などで一時的に介護を続けられない場合に利用できます。
3. 介護者のリフレッシュや休息が必要な場合
 - 長期にわたる介護の疲労を癒すため、介護者が旅行や休息を取る際にも利用されます。

予約の取り方

- 医師を通して当院地域連携室にご相談ください。
- レスパイト入院期間は7日～14日間
- 入院時に退院予定日をお知らせください。
- 入院期間中は、処方されている薬を使用するので、必ず持参してください。
- その他、通常の入院時と変わりありません。

レスパイト入院ご希望の場合、ご連絡いただきましたら、申込書をお送りします。申込書に必要事項を記入いただき、受け入れの検討をさせていただきます。

お気軽にお問い合わせください。



連携室より

まだ暑いと感じる日もありますが、朝夕のさわやかな空気、虫の音に秋を感じる時間が増えてきました。健康管理に気を付けながら、秋のおいしい食べ物をたくさん楽しみたいですね。摂食嚥下について、聞きたいことがありましたら、ぜひお声かけください。